



模造紙

もぞうし

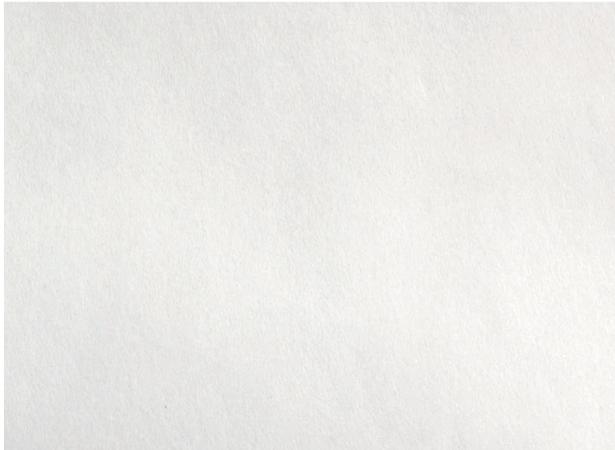


写真 1. 模造紙 (拡大写真)

概要

模造紙は、大判で紙面が滑らかなので描画材の運びが良く、ドローイングや下図などの描画に適した紙です。

紙の厚さは薄く、裏表の差がほとんどありません。また、サイズは四六判(1091mm × 788mm)のものが一般的です。その他に、方眼模造紙やカラー模造紙、10メートルのロール状のものなどがあります。

模造紙は、明治時代に旧大蔵省印刷局で製造された「局紙(きょくし)」という和紙に由来しています。紙質が強く、見た目が美しかった局紙は、ヨーロッパに輸出され好評を博します。その後ヨーロッパでは、化学パルプを用いてこの局紙を模した紙が製造されるようになりました。この局紙を模した紙は、やがて高級洋紙として日本に逆輸入される形で入ってくることになり、国内でさらにこの洋紙を化学パルプで模造したのが、現在の模造紙のはじまりとされています。また、模造紙の名称は、「大洋紙(たいようし)」「広洋紙(ひろようし)」「大判紙」「B紙」といったように、地域によって様々な名称で呼ばれています。

使用上の注意としては、水彩などの水分を多く含んだ描画材を多用すると紙面が凸凹やシワになってしまうことがあります。

画材店などで購入することができます。

※写真中の紙色は、実際とは異なる場合があります。



鉛筆



透明水彩



コンテ



墨汁



ペンインク



パステル



インクジェット

写真2. 模造紙における描画例 (拡大写真)

※描画例(写真)は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。(一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。)